

大阪府の常用雇用者数について

2019年版中小企業白書のデータを基に、常用雇用者数について、上位5都府県の状況を下表にまとめました。これをみますと、中小企業で働く常用雇用者数は東京都（4,672,969人）で飛びぬけて多いことがわかります。大阪府（2,253,454人）は2番目に多くなっています。

ただ、大阪府全体に占める中小企業で働く人の割合は62.8%で、全国平均の64.2%より低く、また愛知県（66.5%）、神奈川県（68.4%）、埼玉県（76.3%）と比べても低くなっています。

また、常用雇用者20人以下（卸売業、小売業、飲食店、サービス業（宿泊業、娯楽業を除く）は5人以下）の小規模企業で働く人の割合をみますと、大阪府は（11.9%）は東京都（5.1%）より高いものの、愛知県（12.3%）や全国平均（13.7%）などより低くなっています。

一般に「大阪は中小企業が多い」といわれますが、以上のように中小企業で働く人の実数は東京都の48%程度しかなく、大阪府全体に占める中小企業、小規模企業の常用雇用者数の割合もそれぞれ全国平均を下回っています。

上位5都府県別規模別 常用雇用者数（2016年）

（単位：人、%）

	全国	東京都	大阪府	愛知県	神奈川県	埼玉県
全体	40,232,940	12,319,416	3,588,001	2,782,373	1,993,623	1,389,621
中小企業	25,849,303	4,672,969	2,253,454	1,850,839	1,363,020	1,059,638
全体に占める割合(%)	64.2	37.9	62.8	66.5	68.4	76.3
うち小規模企業	5,508,317	633,897	426,730	342,238	288,420	256,982
全体に占める割合(%)	13.7	5.1	11.9	12.3	14.5	18.5
大企業	14,383,637	7,646,447	1,334,547	931,534	630,603	329,983
全体に占める割合(%)	35.8	62.1	37.2	33.5	31.6	23.7

【資料】総務省「平成28年経済センサス—活動調査」再編加工（2019年版中小企業白書から）

上位5都府県別 常用雇用者数(全体)の推移

（単位：人、%）

	全国	東京都	大阪府	愛知県	神奈川県	埼玉県
2009年	39,324,270	11,762,684	3,677,784	2,590,022	1,820,823	1,319,227
2012年	38,782,604	11,430,907	3,477,450	2,622,367	1,947,533	1,347,184
2014年	40,613,263	12,342,805	3,669,445	2,786,840	2,001,581	1,379,359
2016年	40,232,940	12,319,416	3,588,001	2,782,373	1,993,623	1,389,621
対2009年比(%)	2.3	4.7	▲ 2.4	7.4	9.5	5.3

【資料】総務省「平成28年経済センサス—活動調査」再編加工（2019年版中小企業白書から）

大阪府の規模別常用雇用者数の推移

（単位：人、%）

	中小企業		うち小規模企業		大企業	
	常用雇用者数	構成比(%)	常用雇用者数	構成比(%)	常用雇用者数	構成比(%)
2009年	2,185,427	59.4	513,720	14.0	1,492,357	40.6
2012年	2,123,465	61.1	467,900	13.5	1,353,985	38.9
2014年	2,301,988	62.7	464,876	12.7	1,367,457	37.3
2016年	2,253,454	62.8	426,730	11.9	1,334,547	37.2
対2009年比(%)	3.1	3.4	▲ 16.9	▲ 2.1	▲ 10.6	▲ 3.4

【資料】総務省「平成28年経済センサス—活動調査」再編加工（2019年版中小企業白書から）